

MAFF-SAT

令和6年能登半島地震及び9月20日からの大雨
に係る活動について

令和6年10月
北 陸 農 政 局

MAFF-SAT(農林水産省サポート・アドバイス・チーム)の役割

農地・農業用施設が被災した際、被災自治体の要請により農林水産省の職員を派遣し、迅速な被害状況の把握や早期復旧を支援します。(状況に応じてプッシュ型で派遣を行います。)

支援の内容

①初期情報収集

被災自治体の要望等の把握を行います。

②緊急概査

被災状況の把握に関する支援を行います。

③技術支援

応急対策工法の相談を受け、復旧計画における技術支援を行います。

本格復旧着手



災害派遣隊車両



初期情報収集



ポンプ車の派遣

令和6年9月20日からの大雨におけるMAFF-SATの活動

9月21日(土)からMAFF-SATの活動を開始しました。
石川県庁へのリエゾン派遣のほか、迅速な被害状況把握のため、農地やため池等農業用施設の被害状況調査に**延べ220人**を派遣しています。(10月7日時点)

発災直後からの対応

- 9月21日：石川県庁にリエゾン派遣開始
- 9月22日：農業用ダム・ため池点検開始
- 9月23日：農地地すべり防止区域の現地確認
：農業集落排水施設の点検
- 9月24日：被災市町への初期情報収集開始
- 9月25日：白米千枚田周辺の被害状況調査
- 9月28日：到達不可能ため池等のヘリ調査開始



到達不能ため池のヘリ調査



農地地すべり防止区域の
現地調査



農業集落排水施設の点検(於 輪島市)



白米千枚田の調査(於 輪島市)



ため池貯水位の確認

令和6年能登半島地震におけるMAFF-SATの活動

令和6年1月1日の発災以降、被災した県・市町へのリエゾン派遣や、農地・農業用施設の被害状況の点検・調査、応急措置等、これまでに**延べ11,126人**がMAFF-SATとして支援に携わっています。(10月1日時点)

防災重点農業用ため池緊急概査



ため池へ徒歩にて進入
進入が困難な場合、ヘリ調査を実施



堤体の被害状況把握(亀裂や崩落等)及び貯水位の計測



水位計設置による遠隔監視
(早期の水位低下が困難なため池)



浸食防止対策(ブルーシート設置)及び
水位低下作業(斜樋の開栓)

令和6年能登半島地震におけるMAFF-SATの活動

氷見地区パイプラインの応急復旧

富山県氷見市の要請を受け、国、県、民間企業等の合同チームにより、パイプラインの調査を実施。応急復旧工事を実施し、田植えの開始までに応急対策を完了させました。

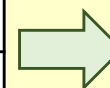


合同チーム発足式（1月15日）



パイプライン埋設道路の被災状況調査及び埋設管破損状況

調査対象箇所	延長
国営幹線水路	27.1km
県営支線水路	115.2km
末端水路等	822km



調査の結果、被災箇所は1,704か所



田植えの様子（5月14日）



通水式（4月26日）



応急復旧作業の監督・立会

令和6年能登半島地震におけるその他の支援

被災地への食料支援、畜産農家への給水支援や物資支援作業、営農再開相談窓口等の支援を行いました。



運搬支援作業(於 全農石川県本部穴水事務所)



給水支援作業(於 内灘町消防本部)



営農再開に向けた相談窓口での対応



水産庁漁業取締船への物資の積込作業
(於 金沢港)

令和6年能登半島地震におけるMAFF-SATの活動（現在）

災害復旧現地事務所の設置

令和6年能登半島地震からの復旧・復興に向けて行う一連の調査・工事を迅速に進めるため、令和6年4月、能登半島地震災害復旧現地事務所を穴水町に設置しました。
現地調査、工事監督等を行う現地拠点として活用しています。

被災自治体への技術支援等

被災自治体の被害状況調査に協力したり、災害復旧に係る技術的なアドバイスを行っています。



坂本前大臣からの訓示(4月)



被災自治体との打合せ



農地地すべり防止区域の現地調査